



第 17 号

発行日 平成 29 年 9 月 5 日
発行 関屋小学校区コミュニティ協議会
編集 同広報部会
協力 新潟市立関屋中学校
同校地域教育コーディネーター
新潟市関屋地区公民館

せきやの火

ここに—このん

梅雨後半のこの時期は、毎年天気予報とにらめっこ。しかし、今年はその心配もなく私たちの関屋浜を存分に満喫できる花火大会とすることができました。そこで、この花火大会を120%楽しむ方法を教えます。たまに、「花火の音が聞こえて浜につくと花火が終わってたんだよ...残念...」と耳にします。そうですね。関屋浜の花火大会は午後7時半に始まり、8時10分には終了します。たったの40分間です。いつも花火大会にお誘いする際に「あつとで、花火が始まる前にお酒をこたま飲んで、始まつたら

花火大会の楽しみ方教えます

「とつても素敵な夕日だよ。これから関屋浜で花火があがるよ。」とみんなに電話したいほど素敵な夕暮れを迎え、第16回関屋浜の花火大会は、7月15日(土)に開催されました。

地域の方々が支える 地域の花火大会

この花火大会は、浜茶屋の人たちが始めたものでした。年々ご来場者が増え、今は、浜茶屋、地域、関係機関による実行委員会形式で運営をしています。財源は、浜茶屋さんの負担と多くのご協賛によって成り立っています。

来年もまたどうぞ... お楽しみください

このように、多くの方々のご協力でも今年も素晴らしい花火大会となりましたことを心よりお礼申し上げます。来年も、皆さんに参加していただき、楽しんでいただければと願っています。



写真提供 長谷川海さん



みんなおれの子どもだ、孫だ...

朝、新潟高校前の交差点にオレンジベストを着た男の人が立っています。その方は、交通量の激しい旧国道116号線を横断する小学生や中学生、高校生などに威勢よく「おはよう!」と声をかけます。子どもたちも「米ちゃん、おはよう。」とあいさつを返します。もし、あいさつがない子がいるようなら、「なんであいさつしねんだ。元気に大きな声であいさつするもんだぞ!」と、温かいまなざしの叱咤激励が飛んできます。6年もの間、雨の日も、風の日も、雪の日も、毎日欠かさず交通安全街頭指導を繰り返している米山健一さんです。

子どもたちの良き指導者 夏休みラジオ体操の指導や秋のなかよし運動会も

米山さんは、子どもたちの良き指導者でもあります。学級



安心安全の交通街頭指導

おはよう!「米ちゃん」

活動の時間に、新1年生にあいさつの仕方を丁寧に教えてくれます。また、6月の全校朝会の場で、交通安全の大切さについて話をしてくれます。そして、夏休みに入ると、期間中1日も欠かさずラジオ体操の指導を行っています。もう35年も続いています。他にも、秋の「なかよし運動会」など楽しい行事を実施してくれま

「あいさつがまず一番」 米山さんの口ぐせ

「みんなおれの子どもだから、孫だから、かわいくてしょうがない。かわいい子どもたちがもし事故にでもあったら大変だから毎日しっかりと見守っている。」「なんととってもあいさつが大事。ちゃんとしたいい大人になるには、あいさつがまず一番。あいさつをしつかりしないとだめらぞ!」米山さんの口ぐせです。

新潟市立関屋小学校 教頭 小林 淳英さん

地域が育てる地域の子供も 関屋地域の心意気

米山さんは、関屋小学校区青少年育成協議会の会長です。同時に、関屋小学校区交通安全推進協議会の会長でもあります。登下校、お祭り、ふれあいスクール、自治(町内)会、各種地域行事等々、子どもたちが地域の大人とふれあう場面がたくさんあります。



オレンジベストを着て毎朝子どもたちに声を掛け続ける米山さん

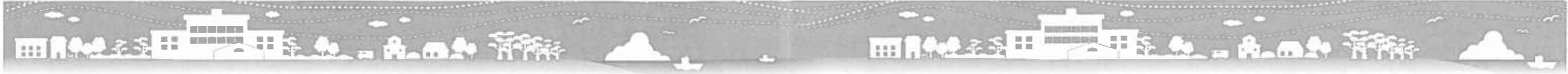
さんあります。地域には米山さんのような方がたくさんいらっしゃいます。「地域の子供もたちは、地域で育てるんだ。」という伝統が脈々と流れているのを感じます。関屋地区はこういった心意気を強く感じる地域なのです。



交差点を横断する子どもたちの安全を守ります



新1年生にあいさつの仕方を丁寧に教えます



安全・安心 楽しい登山

Qどのようにして「ゆきみ山の会」が創立されたのですか？
A新潟市中央公民館登山教室の終了生で立ち上げたので、先人たちの指導を受けられないハンデを背負った。創立時の会員は約40人でした。



ゆきみ山の会 会長 永田栄一さん
こんにちは、私の姓は「えいだ」ですと、永田さん

いまの会員数96人
男性会員は僅か25人

Q現在の会員の方は男性が多いですか？
Aいまの会員数は96人、その中で男性の方は25人です。あとはすべて女性ですよ。
Q山に登ることの一番の魅力はなんですか？
A四季折々の自然の醍醐味があじわえることです。例えば春は豊かな緑の中を歩いたり、秋は鮮やかな紅葉が見られます。
Q今まで一番苦労したことは？
A若い人に入会してもらおうことです。ツアーなどで気軽に山



中丸悠介さん
渡邊美咲さん

Q「ゆきみ山の会」を通して学んだことは？
Aやはり「人と人とのふれ合い」や「未知の世界に挑戦する」といったことでしょうか。他にも「山の掟・仁義」の言葉や「山のルールやマナー」といったことも学

ゆきみ山の会
結成/1984年
会長/永田栄一
会員/96名
活動/登山教室開催、学校登山サポート、山行(年間約60回)、山菜取りや沢登り等
「安全で楽しい登山」を心がけ、四季を通じて活動しています。

インタビューは関屋中学校1年生の生徒さんです 関屋地区のみなさん、どうぞよろしく…



こんにちは

交番でのお留守番

Q交番相談員とはどのようなお仕事ですか？
A「交番相談員」という言葉は聞いたことがない方も多いいと思います。交番相談員とは、警察官が事故などで不在の時に代わりに交番で警察官の一部の業務を代行する人です。例えば、落し物の受け付けや相談の受け付け、また事故などを警察官に連絡したりします。



市役所前交番相談員 唐沢恵子さん
いま新潟県内でただ1人の女性相談員で、現役のときは女性警察官として活躍でした

Q女性警察官を退職後、なぜ交番相談員になろうと？
A上司の方に誘ってもらいました。前にやっていた仕事に役に立つところがあったからです。
Q相談員になって新しく分かったことは？
A私は現役時代の交番勤務が一年しかありませんでした。なので、交番の必要性がよく分かりました。

高橋佐和香さん 山名謙士さん
ひと言も聞き流すまいと真剣な目などして

毎日楽しく毎日大変

Qなぜこの職業におつきになりましただか？
A小学生のころから子どもが好きで、中学生のころから考え始めました。いろいろ悩んだりしましたけれど、やはりこの職業を選びました。
Qお仕事を大変なこと、楽しいこととは？
A毎日楽しく、そして大変です。一人ひとりをよく見て接しなければいけないので、忙しいですが子どもの遊ぶ様子を見ると楽しい気持ちになります。

Q今の時代の子どもたちはどんな性格の子が多いですか？
A1クラス24〜30人ほどですが時代に関係なく一人ひとり全く違うので「関わる難しさ」が大変さの一つです。

Q年少から年が上がるにつれて成長することは？
A自分のことは自分でやれるようになるし(自立)喧嘩をしても自分たちで解決するという友達関係も成長します。

職員間のチームワーク
アドバイスが大切
Qお仕事をしている上で、大切なことは？



新潟青陵幼稚園教諭 廣瀬 円さん
わたしも関屋中学の卒業生ですと明るく元気なひと言…



廣野夏光さん 吉田凱世さん
子どもへの接し方はとても難しいことがよく分かりました

7月12日インタビューを終えて
廣野夏光さん
幼稚園の仕事をよく知ることができました。子どもへの接し方、大事にしていることなど深く学ぶことができました。
吉田凱世さん
幼稚園の先生に話を聞く機会が無かったので、質問したいことがたくさんあり良い勉強になりました。

新潟青陵学園
新潟青陵幼稚園
園長/加藤由美子
新潟市中央区水道町1丁目5939番地
TEL 025-266-8674
FAX 025-266-8679
クラス/満3歳児1クラス、3歳児・4歳児・5歳児各2クラス
職員/幼稚園教諭・事務職員・バス添乗員など計約20人